

2024年9月20日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社TBSホールディングスへの
「サステナビリティ・ファイナンス・フレームワーク」の策定支援及び
「サステナビリティ・ローン」の締結について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、株式会社TBSホールディングス（代表取締役社長：阿部 龍二郎/以下、「TBSホールディングス」）に対し、サステナビリティ・ファイナンス・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）の策定支援を行うとともに、本フレームワークに基づくサステナビリティ・ローン（以下、「本ローン」）を締結いたしました。

サステナビリティ・ローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）及び、社会問題の解決に貢献する事業（以下、「ソーシャルプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクト及びソーシャルプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートイングを通じ透明性が確保されたものを指します。

TBSホールディングスは、日本を代表する報道機関として、地球/社会/自社のサステナビリティに幅広く責任を負っています。「TBS グループ VISION2030」と「TBS グループ中期経営計画 2026」の実現・達成に向けて掲げた、6つの最重要課題（マテリアリティ）は、環境や社会課題解決も考慮に入れたものとなります。

環境に関連するマテリアリティ、「命息づく地球に「最高の“時”」を」に対しては、2026年度までにグループ全体の再エネ電力比率 100%を目指すなど、カーボンニュートラルの実現に向け取り組みを加速させます。

また、社会に関連するマテリアリティ、「メディアとしての「社会的使命」を果たす」に対しては、災害発生時における情報発信を強化するほか、赤坂エンタテインメント・シティ計画におけるサステナブルな街づくりなどにも取り組みます。

今般、TBSホールディングスは、サステナビリティ・ファイナンス・フレームワークを策定いたしました。本フレームワークの策定は、これらの施策に必要な資金の調達に貢献し、取り組みを一層強化・促進するものとなります。

本フレームワークは、第三者評価として株式会社格付投資情報センター（R&I）より、「グリーンボンド原則」、「グリーンローン原則」、「ソーシャルボンド原則」、「ソーシャルローン原則」、「グリーンボンドガイドライン」、「グリーンローンガイドライン」、「ソーシャルボンドガイドライン」、「サステナビリティボンド・ガイドライン」において求められている項目について基準を満たしているとの評価を得ています。

三井住友銀行では、今後もお客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

契約締結日	2024年9月20日
資金使途	赤坂二・六丁目地区開発計画に係る建物建設費等 (赤坂エンタテインメントシティ計画)
契約金額	400億円 コミット型タームローン
借入実行日	2024年10月以降
貸付人	株式会社三井住友銀行
ストラクチャリング・エージェント (※)	株式会社三井住友銀行

(※) ストラクチャリング・エージェント：

サステナビリティ・ファイナンスのフレームワークの策定及び第三者評価取得のための助言等を通じて、サステナビリティ・ファイナンスの支援を行う者。

(参考)

株式会社TBSホールディングス ホームページ：

<https://www.tbsholdings.co.jp/sustainability/finance.html> をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL：03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。